

# Racing Topics

## ★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

### ●富田暁騎手がJRA通算100勝を達成

1月8日(土)の1回中京2日・第4レースではカネトシブルームが1着となり、同馬に騎乗した富田暁騎手(栗東・木原一良厩舎)は、現役99人目となるJRA通算100勝(2292戦目)を達成しました。

### ●川村禎彦調教師がJRA通算400勝を達成

1月9日(日)の1回中京3日・第2レースではアルムブラージュが1着となり、同馬を管理する川村禎彦調教師(栗東)は、現役44人目となるJRA通算400勝(延べ6615頭目)を達成しました。

### ●エフフォーリアが年度代表馬に輝く

2021年度のJRA賞各賞は下記の通りとなりました。馬事文化賞はジャネット・L・ジョーンズ氏の『馬のこころ 脳科学者が解説するコミュニケーションガイド』(パンローリング株式会社/訳者:尼丁千津子氏/編集協力:持田裕之氏)が受賞しています。また、佐々木虔一氏、川尻秋生氏、黒済和彦氏の編集による『馬と古代社会』が馬事文化賞特別賞に選ばれました。

- 年度代表馬……………エフフォーリア(美浦・鹿戸雄一厩舎)
- 最優秀2歳牡馬……………ドウデュース(栗東・友道康夫厩舎)
- 最優秀2歳牝馬……………サークルオブライフ(美浦・国枝栄厩舎)
- 最優秀3歳牡馬……………エフフォーリア(美浦・鹿戸雄一厩舎)
- 最優秀3歳牝馬……………ソダシ(栗東・須貝尚介厩舎)
- 最優秀4歳以上牡馬……………コントレイル(栗東・矢作芳人厩舎)
- 最優秀4歳以上牝馬……………ラヴズオンリーユー(栗東・矢作芳人厩舎)
- 最優秀短距離馬……………グランアレグリア(美浦・藤沢和雄厩舎)
- 最優秀ダートホース……………テーオーケインズ(栗東・高柳大輔厩舎)
- 最優秀障害馬……………オジュウチョウサン(美浦・和田正一郎厩舎)

## ★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

### ●アメリカJCC(中山)に船橋のキャスルトップが登録

アメリカジョッキークラブC(GII、1月23日、中山)に、キャスルトップ(船橋)が登録しました。初の芝に加え、逃げ一辺倒の脚質など、課題が多いように感じられます。

### ●各地のグランプリレースの結果

12月には、全国各地で3歳以上馬による総決算となるグランプリ的な重賞競走が行われました。園田金盃(12月2日、園田、1870m)は、4番手から3コーナー手前で抜け出した前年の覇者ジンギ(牡5歳、父ロードカナロア)がそのまま逃げ込み、単勝1.4倍の支持に応えました。中日杯(12月12日、金沢、2000m)は、出遅れながら3番手に取り付いた単勝1.2倍で圧倒的人気のハクサンアマゾネス(牝4歳、父シルポート)が3角先頭から押し切って連覇達成。中島記念(12月26日、佐賀、1800m)は、後方から追い上げた3番人気のグレイトパール(牡8歳、父キングカメハメハ)が直線に入って間もなく逃げ馬を捉え、8つ目の重賞タイトルを獲得。単勝1.1倍の支持を集めていたドゥアラジュールは、心房細動のため競走を中止しています。東海ゴールドC(12月31日、笠松、1900m)は、中団から差を詰めた1番人気のウインハビネス(牡6歳、父アイルハヴアナザー)が直線の競り合いを制しました。高知県知事賞(12月31日、高知、2400m)は、中団から徐々に進出した7番人気の伏兵グリードパルフェ(牡5歳、父トビーズコーナー)が、先に抜け出した単勝1.1倍で人気の前2年の覇者スペルマロンを直線半ばで交わして重賞初制覇。なお、桐花賞(12月31日、水沢、2000m)は、降雪による走路状況悪化のため取り止めとなりましたが、この一戦を最後に種牡馬入りする予定だった重賞19勝馬エンパイアベガス(牡8歳、父エンパイアメーカー)の引退式は同日、予定通り実施されています。

※最新の開催情報は各主催者のホームページ等でご確認ください。

## ★海外競馬ニュース 文・秋山響★

### ●2021年の英仏競馬統計～英愛首位種牡馬はフランケル

2021年の英愛チャンピオンサイヤーに輝いたのはフランケル(2008年生まれ、父ガリレオ)でした。G1英ダービーとG1キングジョージVI世&クイーンエリザベスSを制したアダイヤー、G1愛ダービーやG1英セントレジャーに勝ったハリケーンレーンなどが活躍。昨年7月に死亡した父ガリレオ(2位)を抑えて、初の戴冠となりました。取得賞金は526万2659ポンド(約8億1045万円/1ポンド154円で換算)。5月1日から10月16日までの期間で争われたイギリスの騎手は、O.マーフィー騎手(26歳)が153勝をあげて3年連続3度目の首位。1月1日～12月31日を集計期間とする同調教師は、C.アップルビー調教師(46歳)が取得賞金491万1903ポンド(約7億5644万円/1ポンド154円で換算)で初のチャンピオンに輝きました。フランスはシューニ(2007年生まれ、父ビヴォタル)が取得賞金372万1200ポンド(約4億8362万円/1ポンド130円で換算)で2年連続2度目のチャンピオンサイヤー。産駒のセントマークスバシリカがG1仏2000ギニーとG1仏ダービーに優勝しました。騎手は、M.バルザローナ騎手(30歳)が192勝で初のトップ。調教師は、A.ファール調教師(76歳)が取得賞金538万7503ポンド(約7億38万円/1ポンド130円で換算)で2年ぶり31度目となるチャンピオンです。